

## 福井市との連携事業

## もりのわフェスタ

生活科学学科 生活デザイン専攻 教授 内山 秀樹

森田地区エコキャンドル実行委員会が、一昨年まで7月末の森田まつり会場で行ってきたエコキャンドルを発展させたもので、昨年より“新住民と旧住民の交流”、“環境にやさしいまちづくり”をテーマに、「マイアクア」で開催しています。今年は9月22日(土)10時から「もりのわマルシェ」と「あそびのひろば」がオープンし、夕方6時から「エコキャンドル」が始まりました。

本学は、生活デザイン専攻1回生28名が「地域環境論」の一環として、内山研究室2回生7名がゼミ活動として「あそびのひろば」を企画・運営するとともに、ゼミ生は企画力を高めるために実行委員会にも参画しました。

あそびのひろばの企画検討にあたり、NPO森のほうかごがっこうのスタッフを招いて、子供達が関心を持つためのポイントや企画する上での留意事項などについてレクチャーを受け、3回にわたるワークショップで企画を絞り込

みました。その結果、1回生は「もりのわ3丁目 まちをつくろう」、「ちよきちよきぺったん」、「かっぱの水あそび」、「もりのわ商店街」を、2回生は昨年好評だった「水鉄砲づくり」を行いました。

会場に材料を搬入して準備を始めた1回生は、屋外での企画のスケール感がつかめず戸惑いながらの準備でした。11時頃には子ども達でいっぱいになり、本学生たちと一緒にダンボールで思い思いのまちを作ったり、お面や水鉄砲などのものづくりに興じたり、カップ役の仁短生を追いかけながら水風船をなげ、あちこちで歓声が上がりました。

多くの親子に来ていただいて、喜んだり感動したりする様子を見て、学生たちはやりがいや達成感を得た一方、天候に左右されたり、お客の呼び込みの難しさ、ダイナミックさが求められる屋外企画の難しさ、事前準備の重要性などを学んだようです。



マイアクアをバックに!



カッパの水遊び



もりのわ3丁目 まちをつくろう